

VISION 2030

長大グループ 長期経営ビジョン2030



【代表者】代表取締役社長 永治 泰司
【本社】東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目20番4号
【電話番号】03-3639-3301(代表)
【HP】<http://www.chodai.co.jp/>
【資本金】31億750万円
【設立】1968年2月
【従業員数】1,533名(連結)(2018年9月 現在)
【上場取引所】東京証券取引所市場第一部
【証券コード】9624
【発行済株式総数】9,416,000株

主なグループ会社

基礎地盤コンサルタンツ株式会社

【代表者】代表取締役 岩崎 公俊
【本社】東京都江東区亀戸一丁目5番7号 錦糸町プライムタワー12階
【電話番号】03-6861-8800(代表)
【HP】<https://www.kiso.co.jp/>

株式会社 長大テック

【代表者】代表取締役社長 奥石 洋
【本社】東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目20番4号
【電話番号】03-3639-3411(代表)
【HP】<https://www.chodai-tec.co.jp/>

順風路 株式会社

【代表者】代表取締役社長 吉富 広三
【本社】東京都豊島区東池袋五丁目4番15号 東信東池袋ビル1F
【電話番号】03-6271-6061(代表)
【HP】<https://www.jpz.co.jp/index.html>



人・夢・技術

株式会社 長大

「夢」を新たに前進

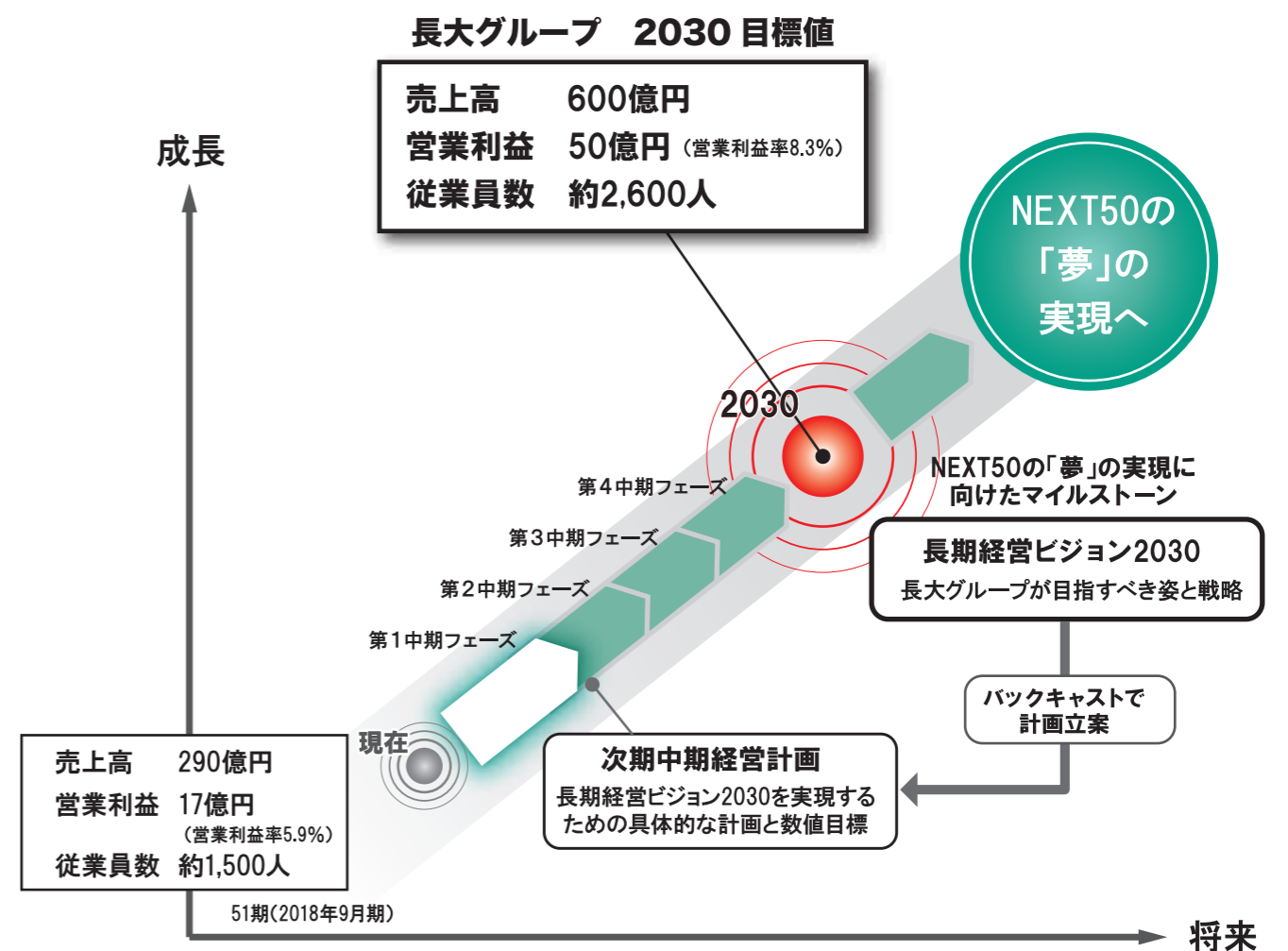
さらに進化、そして成長。

私たちはおよそ50年前に、瀬戸大橋の実現を夢見た技術者たちが、「技術力を第一とする本来のコンサルタント」となることを目指して、「中立公正」を旗印として創業しました。そして50年後の今、私たちは世界最高峰の橋梁設計技術を強みとする総合建設コンサルタントグループに成長しました。

しかし、国内における超高齢化社会の到来とインフラの老朽化、また、アジアを中心とする新興国の成長など、次なる50年の経営環境はこれまでとは全く異なります。

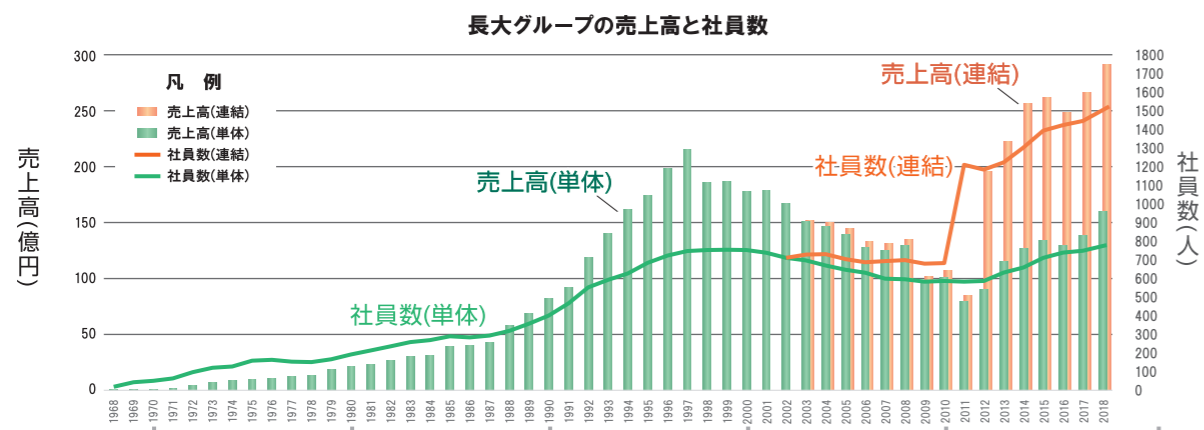
私たち長大グループは、創業期から変わらず、社員一人一人の「夢」を原動力として、次なる50年のさらなる成長を目指します。

この長期経営ビジョン2030は、次なる50年のさらなる成長に向けて、2030年をマイルストーンとする「ビジョン」(私たちが目指す姿)とそれを実現するための「戦略」を策定したものです。



これからの50年へ

これから、第二創業期へ。長大グループはさらに進化。

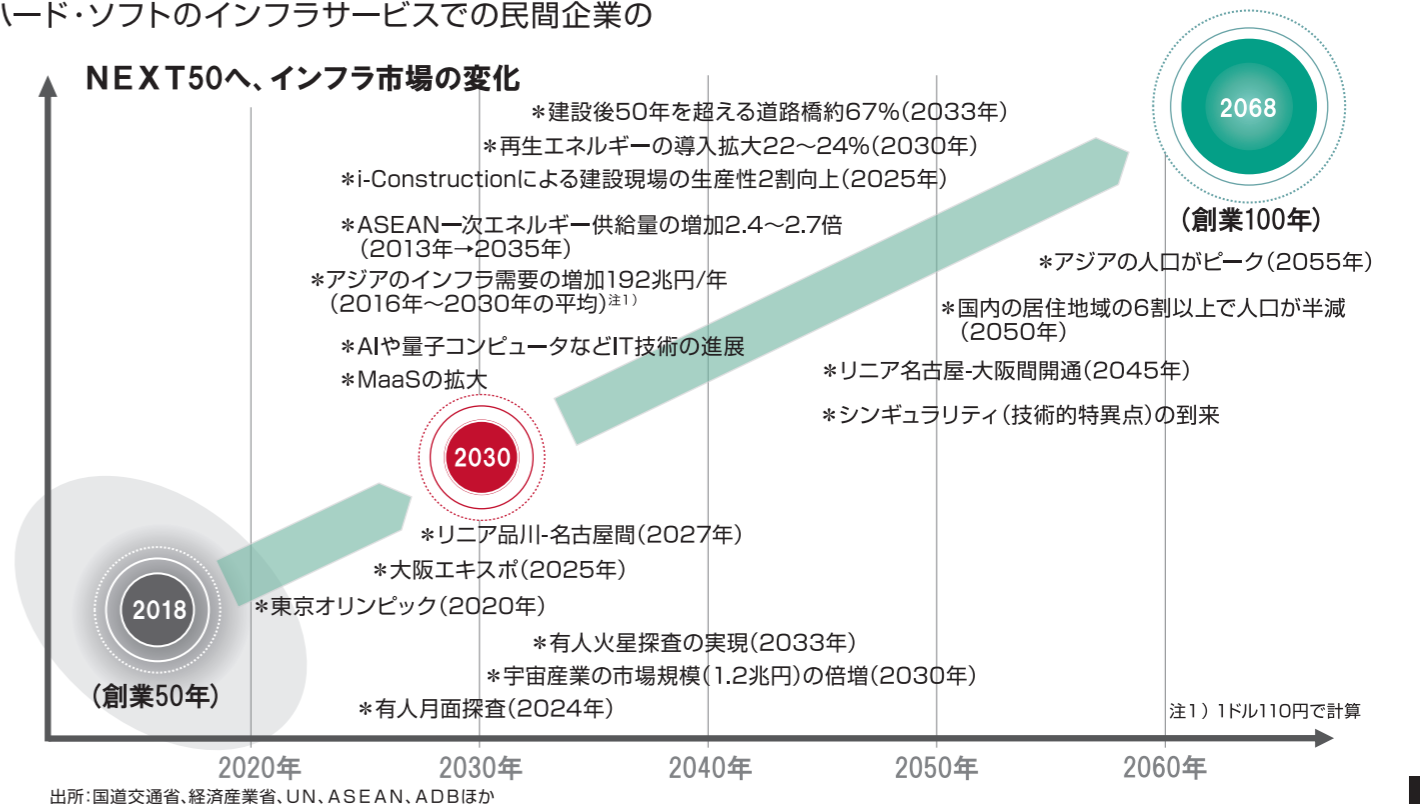


創業期	拡大期	成熟期	再生期	第二創業期		
1960年代 創設の時代 ●1968年(昭和43年) 「有限会社長大橋設計センター」設立 「株式会社長大橋設計センター」に社名変更	1970年代 総合建設コンサルタントへ ●1970年(昭和45年) 本州四国連絡橋の本命Dルート18kmの設計を受注 ●1971年(昭和46年) 環境アセスメント分野の事業開始 ●1973年(昭和48年) 交通計画分野の事業開始 ●1975年(昭和50年) 海外業務受注開始/情報サービス分野の事業開始	1980年代 IT化の進展 ●1980年(昭和55年) 都市、地域計画分野、道路分野の事業開始 「一級建築士事務所」の資格取得 ●1982年(昭和57年) 道路情報分野の事業開始 ●1984年(昭和59年) 「株式会社長大」へ社名変更	1990年代 成長とグローバル化 ●1996年(平成8年) 東京証券取引所市場第二部に上場 ●1997年(平成9年)～ ISO9001の認証を取得 ●1998年(平成10年)～ ISO14001の認証取得	2000年代 成熟の時代 ●2001年(平成13年) 国内での公共事業などに関するPPP/PFI事業開始 ●2002年(平成14年) 子会社(株)長大テックを設立 ●2007年(平成19年) 子会社順風路(株)を設立 2010年代 そして新たな創造の時代へ ●2010年(平成22年) 「伊吹山ドライブウェイ」運営事業を開始 ●2011年(平成23年) 「基礎地盤コンサルタンツ(株)」をグループ会社化 ●2012年(平成24年) フィリピン国水力発電事業の開始 ●2013年(平成25年) 子会社長大コアを設立 ●2015年(平成27年) 海外鉄道分野の事業開始 ●2017年(平成29年) 東京証券取引所市場第一部指定 ●2018年(平成30年) 創立50周年	NEXT50へ 新たな成長サイクル	
本州四国連絡橋(瀬戸大橋)	明石海峡大橋	東京湾連絡橋(レインボーブリッジ)	首都高速道路情報板	NHK地上波デジタルデータ放送道路情報提供画面	フィリピンアジアガ川小水力発電事業	

今後のインフラ市場を見据え、改革を展開。

これからの50年は、国内では超高齢化社会に対応した新しいインフラ整備やインフラの老朽化への対応が求められる一方、社会保障費の増加により公共財源が圧迫されることから、IT技術を活用したインフラサービスの高度化や効率化が必要不可欠です。また、モビリティや情報プラットフォーム等を含めたハード・ソフトのインフラサービスでの民間企業の

役割がこれまで以上に拡大します。海外では、アジアを中心とした新興国の成長により、膨大なインフラ需要が予測される一方で、急速な経済開発に伴う二酸化炭素排出量増加や環境汚染への対応など、先進国と新興国の協力を通じた持続可能な開発が求められます。



「技術」を伸ばし

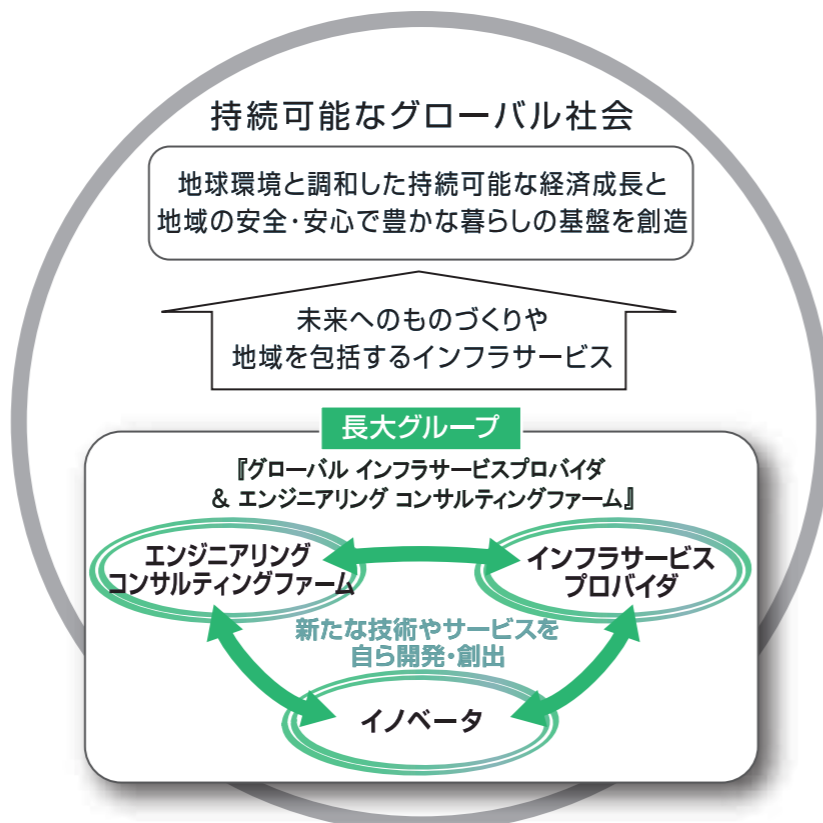
新たな次元へ

インフラサービスプロバイダ、新たなコンサル像を実現。

私たち長大グループは、これまでの国内公共事業で培った総合建設コンサルタントとしての機能をさらに発展させつつ公共事業の枠に囚われず、グローバルな未来へのものづくりサービスを提供する「エンジニアリングコンサルティングファーム」としての役割を強化します。また、長大グループがフィリピン・ミンダナオ島で進めている地域経済開発プロジェクトに代表されるように、自らが事業者となって地域への包括的なインフラサービスを提供し、現地での経済成長に貢献する「サービスプロバイダ」としての役割を強化します。さらに、これらを実現するために、自らが「イノベータ」として、次世代の持続可能な形成に必要な革新的な技術や新たなサービスを創造します。

わたしたちが提供するインフラサービスは、それ自体が持続可能な社会を形成するための基盤となるものです。長大グループは、新たなコンサル像の実現を通じて、「持続可能なグローバル社会を創造する企業」へと成長します。

持続可能なグローバル社会を創造する企業へ



長大グループが目指す新たなコンサル像

培ってきた技術はより強く、そしてさらなる成長を目指す。

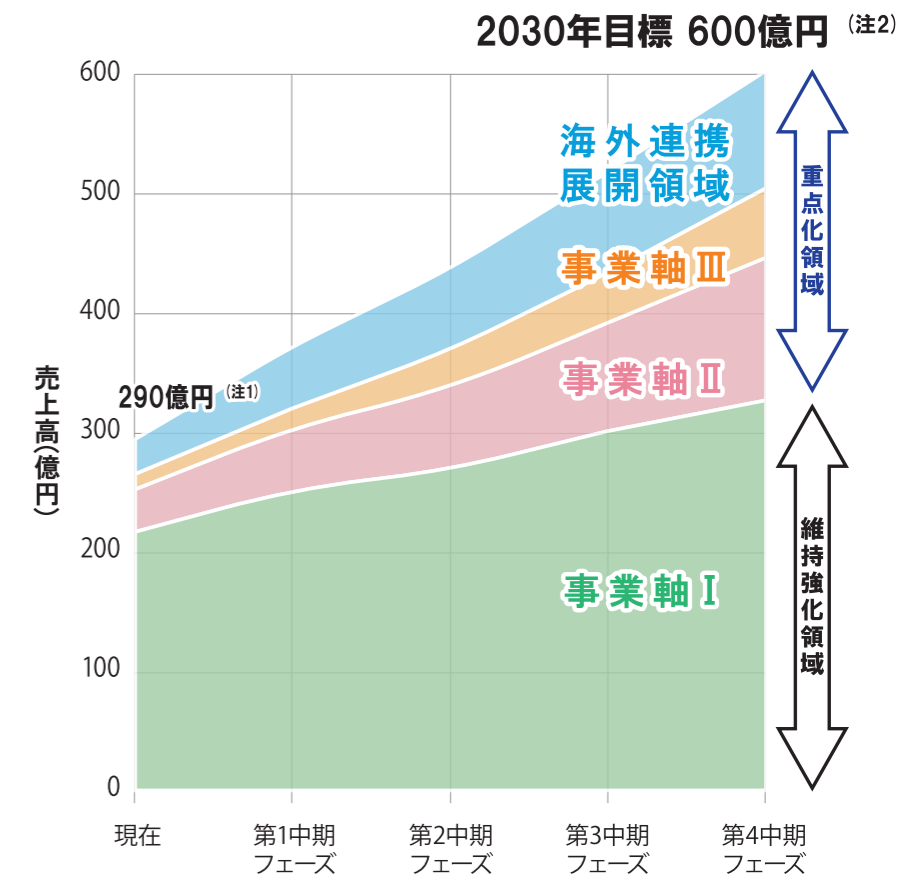
現在の主要事業分野である「事業軸Ⅰ 国土基盤整備・保全分野」の維持・強化を図るとともに、「事業軸Ⅱ 環境・新エネルギー分野」及び「事業軸Ⅲ 地域創生分野」の事業の強化、さらに、東南アジアの新興国を中心とする海外事業の強化を図ることで、さらなる成長を目指します。

53期(2019-2020年)をスタートとして、3カ年の中期経営計画の4回分の期間を経て、64期(2030-2031年)における売上高600億円の達成を目指します。

<4つの事業分野>

- 事業軸Ⅰ 国土基盤整備・保全分野**
国土の基盤となるインフラの整備や維持管理、また、防災、減災対策等を行う分野
- 事業軸Ⅱ 環境・新エネルギー分野**
環境共生型社会の実現に向けた環境保全や再生可能エネルギーの導入促進を図る分野
- 事業軸Ⅲ 地域創生分野**
次世代の持続可能な社会形成の実現に向けたプランニングや包括的なサービスを提供する分野
- 海外連携展開領域**
事業軸Ⅰ～Ⅲのサービス体制の強化や連携により、急速な経済成長を遂げる新興国等において持続可能な開発を支援する分野

■売上高目標



注1) 51期実績(2018年9月期)
注2) 64期目標(2031年9月期)

インフラサービスは

領域を越え、広がる

拡大し連携を深める長大グループの事業領域。

私たち長大グループは「事業軸Ⅰ 国土基盤整備・保全分野」、「事業軸Ⅱ 環境・新エネルギー分野」、「事業軸Ⅲ 地域創生分野」の従前からの3つの事業軸に対し、グループの総合力を活かし、超高齢化社会の到来や人口減少、頻発する大規模災害など、めまぐるしく変化する社会環境をふまえ、持続可能な社会形成を実現する多様なインフラサービスを提供します。

**事業軸Ⅱ
環境・新エネルギー分野**
環境、エネルギー、
エコプロダクツ等
エンジニアリング
サービス プロバイダ事業

**事業軸Ⅰ
国土基盤整備・保全分野**
橋梁、道路、
交通、ITS、
老朽化対策、鉄道、
港湾、河川防災等
インフラサービス事業

**事業軸Ⅲ
地域創生分野**
PPP/PFI、
建築、
医療福祉等
新たなまちづくり
サービスプロバイダ事業

海外連携展開領域

国土基盤の整備と保守、そして強靱化を推進。

事業軸Ⅰ 国土基盤整備・保全分野

これまで、そしてこれからも長大グループは国土の発展に向け、橋梁、道路、トンネル、ダム、港湾、河川、砂防など、あらゆるインフラ建設に携わってゆきます。さらに、高度なインフラ技術と最先端のIT技術を融合することで、国土基盤を形成するインフラの効率的な維持管理や国土強靱化のための防災、減災対策を推進するとともに、Society5.0の社会システムを支える新たなインフラ整備や自動運転等の新技術へのニーズに対応します。また、インフラ運営や維持管理等のサービスプロバイダ事業の強化や新領域への事業拡大を図ります。

SDGsへの対応



Sustainable Development Goals
:持続可能な開発目標

高度ICT技術活用、自動点検ロボット等による維持管理



日本が誇るインフラ技術の最先端の橋梁



夢翔大橋 (奈良県五條市)

i-Construction、BIM/CIM活用への対応と効率化



リアルタイム道路交通情報の提供



地球環境と共生しつつ

地方や途上国を振興

環境・安全・安心・・・地域をまるごとプロデュース。

事業軸Ⅱ 環境・新エネルギー分野

環境共生型社会の実現に向け、再生可能エネルギー事業へのコンサルティングサービスを提供するとともに、事業者（サービスプロバイダ）として自らも再生可能エネルギー事業等の環境ビジネスを展開します。また、環境技術とIT技術の融合によるサービスの高度化、並びに、新領域への事業拡大を図ります。

各種事業に伴う自然環境調査



SDGsへの対応



環境技術とIT技術の融合によるサービスの高度化



事業軸Ⅲ 地域創生分野

スマートシティの実現や地域の活性化及び福祉サービスなど、地域の持続可能な発展に向けた計画立案、民間資金やノウハウを活用した施設の設計や運営計画の立案など、次世代のまちづくりのためのコンサルティングサービスを提供します。また、事業者（サービスプロバイダ）として多様な業種との連携を図り、まちづくりの包括的なサービスを実現します。

オンデマンド型バス運行支援



SDGsへの対応



新たなまちづくりのアドバイザーと事業参画



個別のインフラ整備だけでなく地域経済開発プロジェクトに展開。

海外連携展開領域

急速な経済成長を遂げる東南アジア諸国等をターゲットとして、海外拠点再編や事業軸Ⅰ～Ⅲのサービス体制の強化や連携を図ることで、国や地域の特性に応じた地域経済開発支援を推進します。東南アジアを皮切りに、その他のアジア地域やアフリカ地域への展開を図ります。

SDGsへの対応



小水力発電等を起点として地域の経済振興に事業参画



鉄道と新交通システム



新興国のインフラ基盤整備を支援



全てはチャレンジ精神

そしてイノベーション

成長へ向けて、8つの変革。

1 イノベーションの推進

長大は、50年前、ベンチャーという言葉がまだ一般的ではなかった時代に「長大吊橋を世界へ」の夢と共にベンチャー企業としてスタートしました。そこにはいつの時代もイノベーションという言葉が社内共通語として存在しています。

新たなインフラ技術サービスの開発、新領域への進出や新ビジネスの創出など、様々な角度から長大グループは事業のイノベーションを推進します。

これに向け次期事業年度である第53期からは、新事業イノベーション室を立ち上げ(第52期は同準備室)、イノベーションと革新的なIT化(後述)の両輪を推進し、これまでに無いイノベーション溢れる社会インフラ技術の開発を目指します。

2 IT化の推進

長大グループが培ってきたインフラ技術や専門データ、ビッグデータとIT技術を組み合わせることで、技術やサービスの高度化・効率化を図り、Society5.0に対応するインフラサービスを提供します。

具体的には、AI、IoTの活用、長大独自のオンデマンド交通技術を核とした自動運転、MaaS(注1)への展開、新たなまちづくりの基幹となるスマートシティプラットフォーム、エネルギーマネジメント、そしてこれらへの量子コンピュータの応用など、最先端のIT技術の導入による革新的なインフラ技術開発を目指します。

次期事業年度である第53期からは、IT戦略推進センターを立ち上げ、新たな事業領域への進出に向けて、多様なIT技術、手法、角度からインフラ技術のイノベーションをより一層推進します。

また、社内プロセスの徹底したIT化を図ることで、技術社員のみならず管理、営業系社員にまで広げた圧倒的な生産性向上を図り、持続可能な成長を実現します。

(注1) MaaS :ICT を活用して交通をクラウド化し、公共交通か否か、またその運営主にかかわらず、マイカー以外のすべての交通手段によるモビリティ(移動)を1つのサービスとしてとらえ、シームレスにつなぐ 新たな移動の概念

3 ダイバーシティの推進

長大グループはこれまで、国内だけでなく世界をフィールドとして事業を展開しています。そこにはダイバーシティ溢れる人材や働き方など多様な就業環境があります。働き方改革のさらなる推進を図ることで、女性、シニア、外国人など、多様な人材が働きやすい環境を創出し、人材の活性化を目指します。長大グループの財産は人である事を踏まえ、多様なキャリアパスの整備や人材育成制度により、成長の源泉となるプロフェッショナル人材を育成し、個人のより高いパフォーマンスの発現など、これまで以上に人材のダイバーシティを推進します。



女性活躍に向けた「7Cプロジェクト(注2)」の様子

社員のグローバル化を推進

(注2) 7Cプロジェクト :女性活躍にかかわる研修・啓発推進を目的とするプロジェクト

社員の創造性と、相互の信頼を育み、共に前進。

4 持続可能な社会形成への寄与

これまで50年、長大グループが行ってきた事業活動そのものがSDGsと言えます。これからは国内事業はもとより海外事業において、より社会性の高い事業を、例えばフィリピン・ミンダナオ島での地域経済開発プロジェクトの経験と実績を活かしながら展開します。

これらを通じ、SDGsの先駆者として、国内外における自然環境と調和した社会基盤整備のための様々なサービス、またグループ内におけるダイバーシティや脱炭素型経営の推進など、インフラサービスと企業活動の両面で、持続可能な社会形成への取り組みに貢献します。

SDGsへの対応



Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標

5 国内体制の強化

先に掲げた2030年におけるグループ全体の数値目標の達成には、基幹事業であるコンサルティングサービス体制やインフラサービスプロバイダとして計画～維持管理までの包括的なサービス体制の強化が必須です。これに向け、グループ全体としてのドメスティックな体制強化は勿論、これまで以上のM&Aや地域の多様なプレーヤーとの提携によるアライアンスを構築、強化します。

6 グローバル体制の強化

これまで長大グループは橋梁事業では世界各地を、鉄道事業や地域経済開発事業、また地盤関連事業ではアジアを中心として展開してきました。これからは次の50年に向け、現在急成長を遂げているアジアだけではなくアフリカ諸国などもターゲットとし、グループ全体での海外事業の強化に向け、海外拠点の再整備と営業体制の強化、並びに、現地政府や企業とのネットワークの強化を図ります。また、特にフィリピンやシンガポール等の海外拠点を活かしてグローバルな人材を育成し、グループ全体の持続可能な成長を目指します。

7 戦略的な投資

前述の国内体制やグローバル体制の強化も含め、長大グループの中長期的な成長に向けた戦略的な投資をこれまで以上に積極的に行います。

M&AやCVC(コーポレート・ベンチャー・キャピタル)等の投資枠の設定と実行、またグループ傘下の長大キャピタルマネジメントを通じたインフラ、再生可能エネルギー事業への出資等を推進します。さらには、新ビジネスや技術開発のための研究開発費を段階的に強化します。

8 グループ体制の強化

絶えず変革する社会のニーズや発展するインフラビジネスに携わる長大にあっては、過去の遺産や成功体験にとらわれることなく、変化する環境に対応できるものが生き残るという、まさにダーウィンの進化論を実践して参りました。長大グループの持続可能な発展に向け、グループの強みの最大化を図るための体制の構築、また、グループ全体のより効率的、最適な体制構築のためのガバナンス強化策を柔軟に且つ継続的に検討して参ります。

長大グループ・・・つながるチカラ

グループのシナジーを最大限に発揮し、
各分野で各社が培ってきた独自の技術や専門性を発展融合させ、
次世代の社会に求められるインフラサービスを高次元で提供していきます。



主なグループ会社

◆ 基礎地盤コンサルタンツ 株式会社

地盤に強い総合コンサルタント。国内および東南アジアで、土質・地質調査、試験、分析、設計、計測、点検、土壌汚染対策、災害対策など幅広い領域で活躍しています。

◆ 株式会社 長大テック

道路管理データベースの整備・運用と公共インフラ点検調査業務を専門領域に、日本の「安全・安心」に貢献しています。

◆ 順風路 株式会社

道路交通情報に特化し、高度な専門性と技術力により快適な道路の移動を提供。少子高齢化に対応したオンデマンド交通や健康関連事業を手がけています。

世界のネットワーク

- SINGAPORE (Singapore)
CHODAI & Buro Engineering Pte Ltd
Kiso-Jiban Consultants Co., Ltd. Singapore Branch
Kiso-Jiban Singapore Pte Ltd
- VIETNAM (Hanoi)
CHODAI Co., Ltd. Representative Office
CHODAI & Kiso-Jiban Vietnam Co., Ltd.
- CHINA (Beijing)
CHODAI Co., Ltd. Representative Office
- KOREA (Seoul)
CHODAI Korea Co., Ltd.
- INDONESIA (Jakarta)
CHODAI Co., Ltd. Representative Office
PT Wiratman & CHODAI Indonesia
PT AMCO Hydro Indonesia
PT Pondasi Kisocon Raya
- PHILIPPINES (Manila)
CHODAI Co., Ltd. Representative Office
Chodai Philippines Corporation
- PAPUA NEW GUINEA (Port Moresby)
CHODAI Co., Ltd. Representative Office
- MALAYSIA (Puchong)
Kiso-Jiban Sdn. Bhd.
- TURKEY (Istanbul)
CHODAI Co., Ltd. Representative Office

地域と地域、 人と人、 そして未来へつなげるために

長大グループは未来の国土づくりに向け
あらゆるインフラ整備のための調査・計
画・設計・運営・維持管理を行うコンサル
ティングファームです。これまでも、そし
て、これからも社会と地域のニーズ、技術
革新等にいち早く対応し未来を拓いてい
きます。

ここではそのほんの一例を紹介します。



事業軸I
国土基盤整備
・保全分野



これまで培った高度なインフラ技術とIT技術を融合し、サービスをさらに深化させることでインフラサービスのイノベーションを創出します。

これにより、効率的なインフラの維持管理や防災、減災等のニーズに対応するとともに、自動運転技術等を活用したSociety 5.0を支える新たなインフラサービスを提供します。

最大支間長1991mの世界最長の吊橋



明石海峡大橋(兵庫県)



レインボーブリッジ(東京都)



白鳥大橋(北海道)



多々羅大橋(愛媛県)



新西海橋(長崎県)



とよみ大橋(沖縄県)

**暮らしの
安全安心を目指し、
さらなる技術の
研鑽を続ける。**



新東名高速道路 富士川橋(静岡県)



宇品大橋(広島県)



頭島大橋(岡山県)



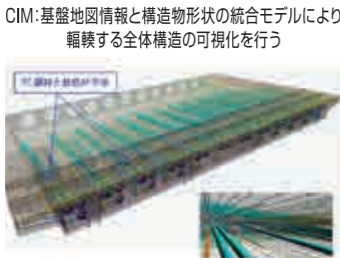
七色高架橋(奈良県)



西沢大橋(山梨県)



富士山を展望できる日本最長の歩行者専用吊橋



耐震補強化



中央大橋耐震補強設計(東京都)



関門トンネル(山口県、福岡県)



関東試験室



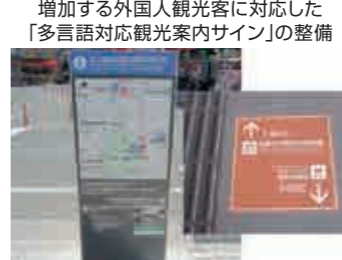
大型三軸試験装置



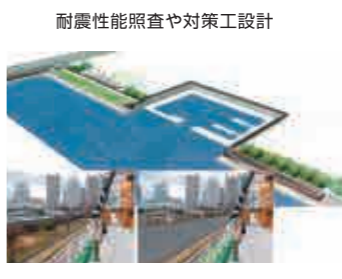
大阪湾岸道路西伸部(六甲アイランド~ポートアイランド)(兵庫県)

**どんな構造物も
基礎から始まる。**

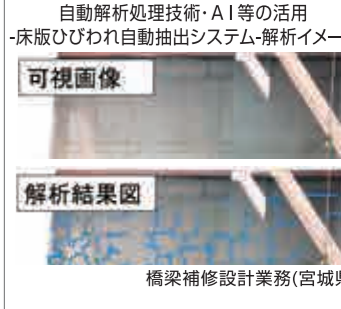
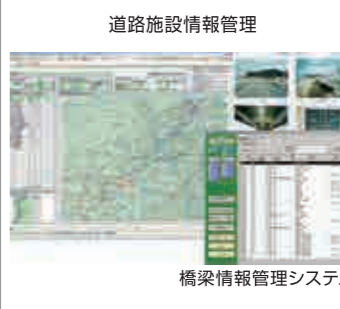
**「劇的」より「着実」に。
たしかな成果を
積み重ねて
日常により良い変化を。**



**対応と備えを
繰り返し、
災害大国から
災害に強い大国へ。**



**時間という
目に見えないものに
経験と知識と、
最新技術で
対応していく。**



事業軸II 環境・ 新エネルギー分野

SDGsへの対応

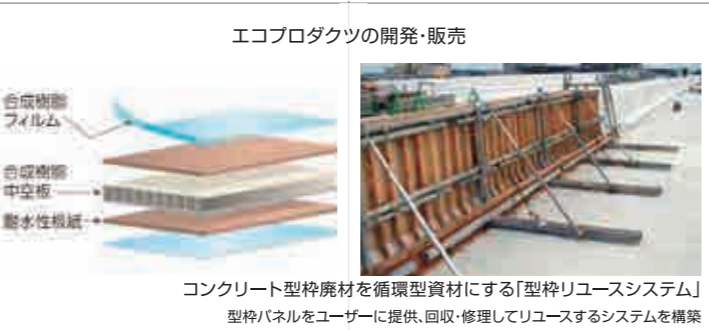
Sustainable Development Goals
:持続可能な開発目標

再生可能エネルギー事業における調査、資金調達、設計、施工監理から運営までの一貫したコンサルティングサービスをワンストップで提供するとともに、自らも事業者として、環境共生型社会の形成に貢献していきます。

また、従来からの環境技術とIT技術の融合によるサービスの高度化や新たな事業分野への拡大を推進します。



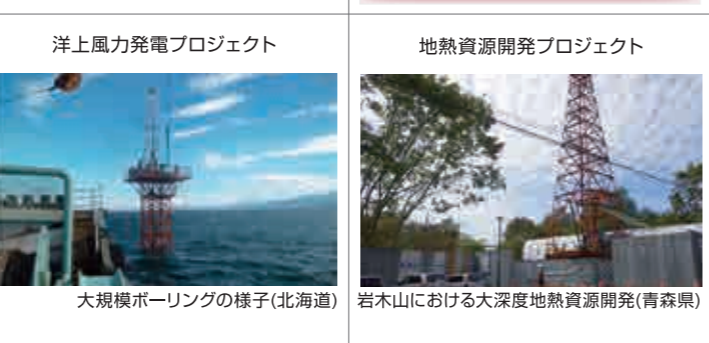
**共存と共栄を。
科学と技術の発展は
必ずしも自然破壊と
イコールではないと
証明する。**



工事中の環境監視システム

環境影響評価 自動計測システム

**今だけでなく、
今後の社会を
見据えて
取り組む。**



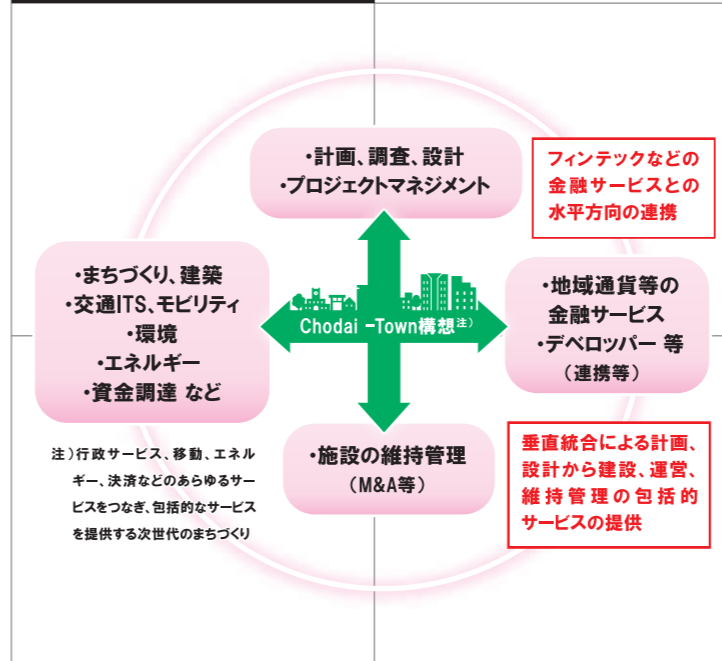
事業軸III 地域創生分野

SDGsへの対応

Sustainable Development Goals
:持続可能な開発目標

超高齢化社会に対応した新たなまちづくりの計画、民間資金やノウハウを活用した施設の設計や運営計画など、一貫したコンサルティングサービスを提供します。

また、サービスプロバイダとして多様な業種と連携を図ることで、長大グループの目指す次世代のまちづくりにおける包括的なサービスを提供します。



**「より良いまちづくり」
とは？
地域とともに
悩み、考え、
課題に取り組む。**



海外連携 展開領域

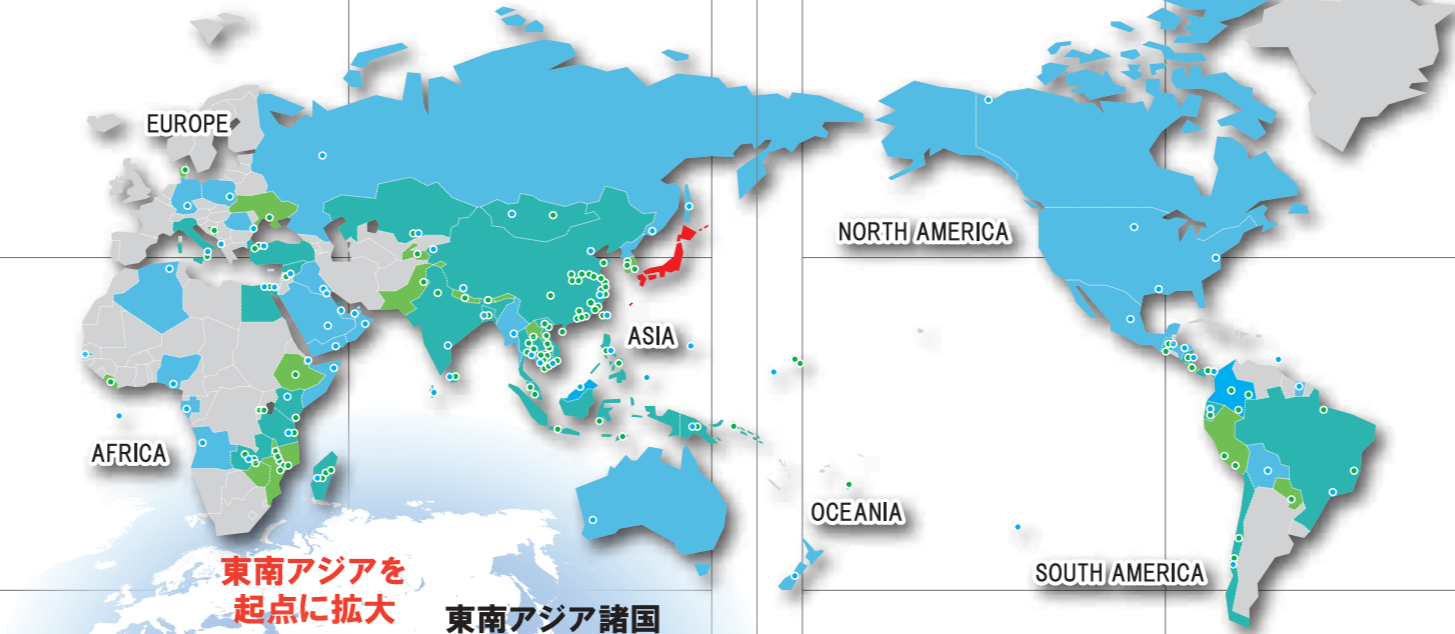


急速な経済成長を遂げる東南アジア諸国等において、構造、道路、鉄道、地盤、再生可能エネルギー、水インフラ等のサービスと事業体制の強化を図り、各国各地域の特性に合わせ、経済発展の礎となるための総合的インフラ基盤整備をトータルに推進します。

さらに、東南アジアを起点として、その他のアジア地域やアフリカ地域への事業の拡大を図ります。

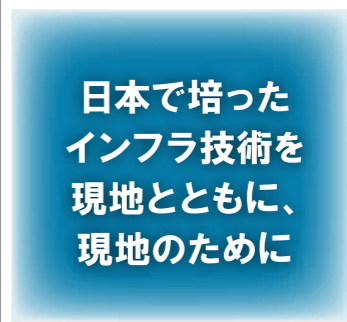
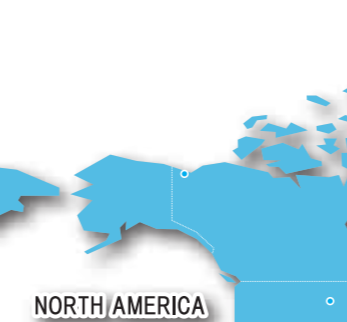
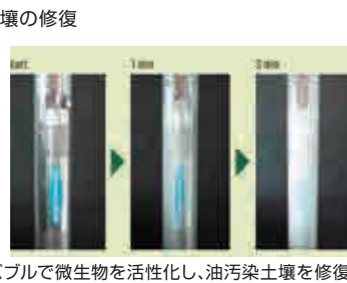
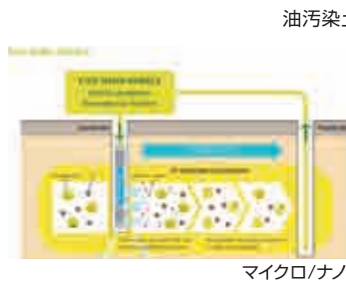
日本で培った
インフラ技術を
世界の地域経済発展
に尽くす

世界における長大グループの事業実績箇所



	長大	基礎地盤	両社
事業実績(位置)	●	●	
事業実績(国)	■	■	■

資源を無駄にせず
最大限に活用する



日本で培った
インフラ技術を
現地とともに、
現地のために



未来へ。そして、「夢」へ。

※これらの絵図は、創立50周年記念事業での社内公募『30年後の長大の未来図』、および社員の子供たちの『私たちの未来（絵画コンクール）』による作品群です。



【その先の、道へ。】札幌若手チーム (札幌支社)



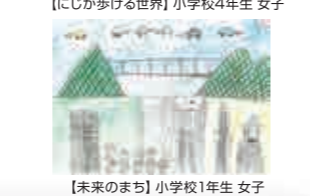
【レインボータワー】小学校2年生 女子



【にじが歩ける世界】小学校4年生 女子



【未来は海で楽しく!】小学校2年生 女子



【未来のまち】小学校1年生 女子



【楽しい宇宙旅行】小学校5年生 女子



【家を作るロボット】小学校2年生 女子



【みらいのおしろ】小学校2年生 女子



【空飛ぶアシスト自転車】小学校4年生 男子



【ロボットといっしょい出を作ろう!】小学校2年生 女子



【ナイスミドルのナイスな未来】ナイス☆ミドル会 (東京支社)



【ぼくのすきなせかい】1歳10ヶ月 男子



【自由な未来】小学校4年生 女子



【1万年後の世界】小学校6年生 女子



【未来の長大】小学校5年生 男子



【30年後の私の街】小学校4年生 女子



【おかしなせかい】年長 女子



【どうぶつがしゃべれるせかい】小学校3年生 女子



【まちの未来は夢の延長線上で“つながる”】門NA会 (東京支社)



【カラフルタウン】小学校5年生 男子



【もの上にある町】小学校2年生 女子



【空飛ぶ乗り物】年中 女子



【世界の山々を結ぶ橋】小学校4年生 女子



【海の中に人魚!?】小学校6年生 女子



【未来のドア】年少 女子



【空飛ぶじゅうたん】小学校2年生 女子



【かくかくのミライ】小学校6年生 女子



【30年後のまち私と地域】小学校4年生 女子



【山より高いはし】小学校2年生 男子



【30年後のまち】年中 女子



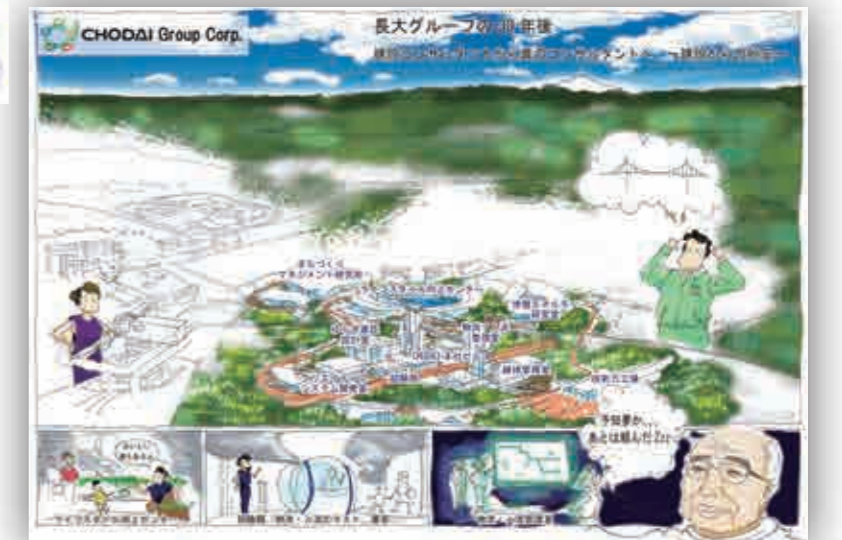
【ぼくらの空とふみらいのまち】小学校2年生 男子



【空の世界へようこそ】小学校4年生 男子



【未来の海街】小学校1年生 男子



【建設コンサルタントから真のコンサルタントへ】予言者 (大阪支社)